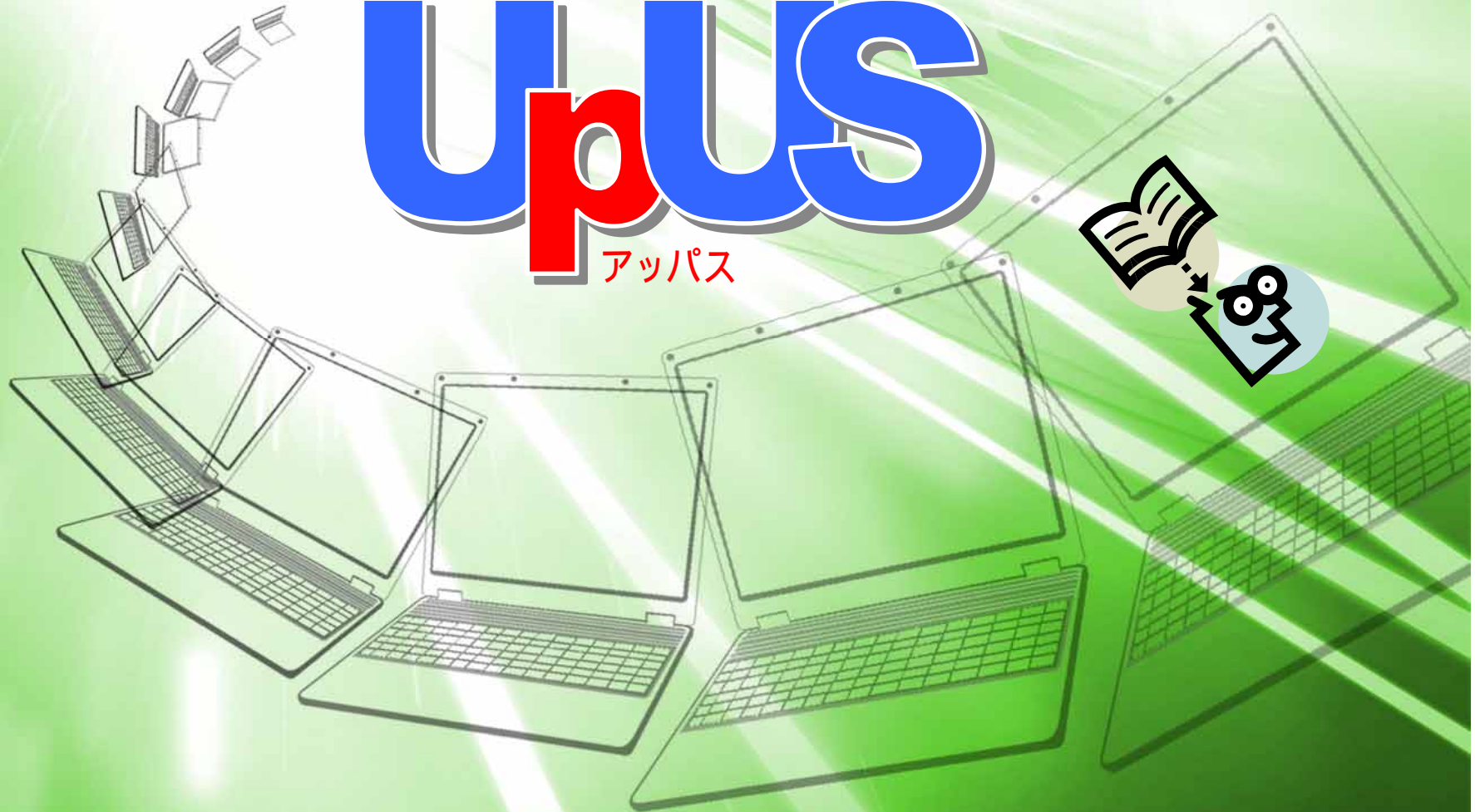


ページ数増殖で検索結果が上位に！ SEO対策費も激減！

## コンテンツ自動生成システム

# UPUS

アップス



インキュベクス株式会社

身近な例えで解説する

エス・イー・オー  
**SEO** って、何？



まず、コンテンツ自動生成システム「UpUS(アップパス)」の特徴であり、ウェブサイトにとって最も重要な戦略である「SEO」について、簡単にご説明します。

### 身近な例え

本屋を想像してみてください。

売れ筋の本・ベストセラーや、その本屋が、プッシュして売っていききたい本は、入り口付近などの目立つ場所に置いてありますね。

お客様も、そういう場所に置いてある本には、やはり目がいくし、立ち読みしたり、ときには衝動買いしてしまうことがあると思います。

本屋に並んでいる「数百冊」という膨大な本の中で、その本が目立つ場所に置いてあれば、他の本よりも売れやすくなることをご理解いただけると思います。

### SEOはウェブサイトを目立つ場所に置くことと同じ

Yahoo!やGoogleで検索すると、膨大な情報が表示されますね。そんな膨大な情報・ウェブサイトの中で、自分たちのウェブサイトを目立つ場所に置くことがSEOとってください。

**UpUS(アップパス)は、ウェブサイトに欠かせないこのSEOを強力で、しかも自動で行なえるように開発された画期的なシステムです。**

### ぜひ覚えていただきたい、たったひとつの専門用語

その言葉は、「**インデックス**」です。

さて、「インデックス」とは、どういう意味なのでしょうか？



身近な例えで解説する

# インデックス って、何？



## 身近な例え

ふたたび、本屋を想像してください。私たちが出版社だとして、自分たちが作った本を、本屋にどんどん売ってもらおうとした場合、最初に何をしなくてはいいのでしょうか？

それは、その本屋で自分たちが作った本を扱ってもらうこと、つまり、自分たちが作った本を、その本屋に「置いてもらうこと」です。

いきなり「目立つ場所に置いてください」と言って本屋の店員を説得するのは、とても難しいことです。本屋は、数百数千冊もの本を置いているので、自分たちが作った本を、ただ置いてもらうだけでも難しいかもしれません。

## 「インデックス」は本屋に本を「置いてもらうこと」

貴社が作られたウェブサイト、これを「本」と思ってください。先程、GoogleやYahoo!のような検索サイトは、膨大な情報・ウェブサイトが置いてある本屋と例えました。

インデックスとは、貴社が作られたウェブサイトをGoogleやYahoo!のような検索サイトの膨大な情報・ウェブサイトの中に混ぜて置いてもらうこと、つまりGoogleやYahoo!という本屋に本を「置いてもらうこと」なのです。



## 「UpUS (アップス)」でインデックス数を増やす！

本屋に本を「置いてもらうこと」は、本屋の店員との人間同士のやり取りで進めていけますが、「インデックス」は、そういったやり取りが成り立たないGoogleやYahoo!の巨大なコンピュータの判断に左右されます。

UpUS(アップス)の強みの一つは、**ページを増やすことでこの「インデックス」も同時に増やして行き、結果的にGoogleやYahoo!の巨大なコンピュータに、貴社のサイトを「情報(ページ数)の多い優良サイト」と判断させる**点にあります。しかもこの作業を自動で、半永久的に行なうことができます。



身近な例えで解説する

# タイトルの重要性



ここからご説明する「タイトル」は、SEOを語る上で最も重要なポイントとなります。この「タイトル」の重要性を貴社にご理解いただければ、このレポートの目的が一定レベル達成できたと言っても過言ではありません。

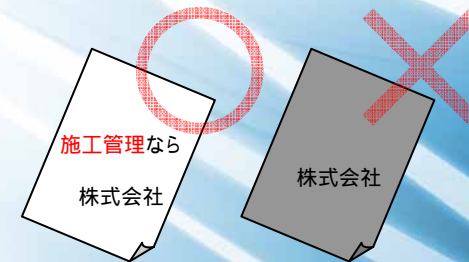
## 身近な例え

先程、貴社が作られたウェブサイトを「本」に例え、インターネットに存在する膨大な数の情報やウェブサイトの中、GoogleやYahoo!という大きな「本屋」に本を置いてもらうこと…これを「インデックス」とご説明しました。

さて、無事に本を置いてもらった(インデックスできた)として、その本屋にお客さんがやって来たとします。このお客さんは「**施工管理**」に関する本を探して(検索して)います。

もしも貴社が作った本のタイトルが、「**株式会社**」だったなら、お客さんは、この本を手にとることは無いでしょう。なぜなら、お客さんが探しているのは「**株式会社**」ではなく「**施工管理**」だからです。

逆に、本のタイトルが「**施工管理**」なら「**株式会社**」となっていれば、お客さんは貴社の本を容易に見つけることができ、貴社の本に関心をもって、手に取り、読み、そして、購入してくれるかもしれません。せっかく一生懸命つくった本でも、タイトル次第でお客様の反応が大きく違うことがお分かりいただけたと思います。



## 「UpUS (アップス)」が特定のキーワードでページを自動作成！

もし本屋に「**施工管理コーナー**」があったら、お客さんはより容易に本を見つけることができますね。

UpUS(アップス)のもう一つの強みは、**そのサイトに非常に関係の深いキーワード(この場合、「施工管理」)でインターネット上を情報収集し、その情報を掲載した新たなページを「自社サイトのページ」として増やしていける**点にあります。お客さんから、GoogleやYahoo!のような検索サイトからも、特定の情報が満載された優良サイトとして認識してもらえます。

身近な例えで解説する

# タイトルの重要性



## ウェブサイトのタイトルの事例

具体的に、ウェブサイトのタイトルとはどのようなものなのでしょうか。  
一般的には、ブラウザの左上端に表示されている内容を「タイトル」といいます。  
ちなみに、弊社運営のM&A TIMES ( <http://www.inq-ma.com/> )のタイトルは、「M&Aを支援する情報サイト M&A TIMES」となっています。

もしも、このタイトルが「インキュベクスの情報サイト」となっていたとしたら、  
今後、どんなに頑張ってもSEOの施策を行っても、  
Yahoo!やGoogleで「M&A支援情報」と検索されたとき、上位に表示されることは無いでしょう。

ユーザーが興味をもつ言葉が、ウェブサイトのタイトルに入っていないければ、  
そのウェブサイトは検索されること無く、世界中の膨大なウェブサイトの中に埋もれてしまうのです。

## 有識者の見解

著名なSEOの専門家の皆さんが、何がSEOに効果的かという議論を交わした際、それぞれの方々が、  
様々なアイデアを提示したのですが、共通した見解として

**「SEOで最も重要なのは、ウェブサイトのタイトルの設定内容である。」**と結論付けています。



UpUS で実現する

# 自動SEO対策

これまでのSEO対策・・・

担当者が手動で増やせるページ数には限界があり、仮にこれを人の手で行なうとなった場合、**内部的もしくは外部的なコストが発生し続けることとなります。**従って、SEOを意識してページを増やしても、結果的にSEOの成果を上回る膨大なコストが発生してしまいます。



Up US  
導入前



UpUS (アップス) のSEO対策

貴社のウェブサイトに関連が深いキーワードで、「他のサイト」へ**自動的に情報収集**しに行きます。このキーワードは自由に設定でき、しかも**NGワード設定機能**がありますので、誤って競合他社の情報が載ってしまうことを防止できます。



Up US  
導入後

ウェブサイトに関連深いキーワードが多数入ったページを自動的に作成。担当者が不在でも、半永久的に増え続けます。

ほぉ～っておいても、あっと言う間に、**SEO対策ページ数が、どんどん増える！**

サーバーの推奨環境 : PHP4以上 / PostgreSQL7.4以上 / MySQL4.0以上

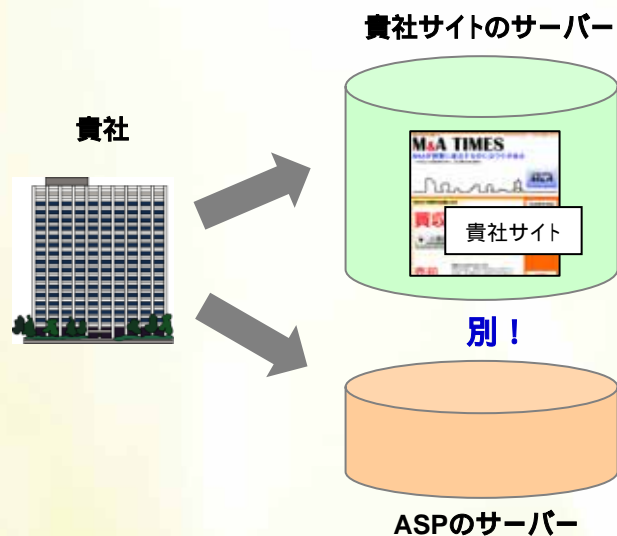
# 他社のSEO対策システムとの大きな違い

某社の類似システムは、ASPサービスであるがために、  
貴社のウェブサイトと同じドメインでのSEO対策ページ増加は不可能です。

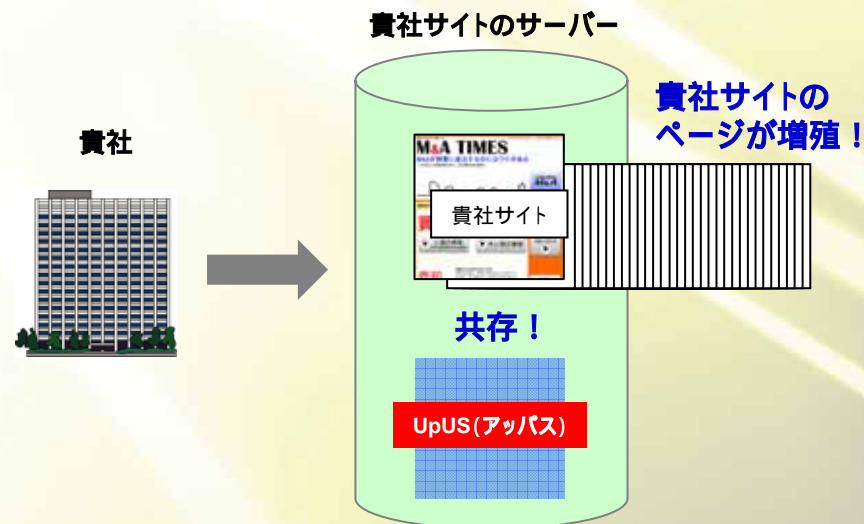
別ドメインでのページ増加になってしまうため、結果的にSEO対策面での、  
貴社ウェブサイトのボリュームアップは不可能となります。

これに対して、Up USは、サーバーアプリケーションですので、貴社のウェブ  
サイトと同じドメインでのSEO対策ページの増加が可能です。  
結果的にSEO対策面での貴社ウェブサイトのボリュームアップが実現するのです。

## 他社のSEO対策システム



## UpUS (アップス) の場合





# 自信の導入事例



新規ページを  
自動生成！

インプラント総合サイト  
「インプラントドクターズ」  
<http://www.implant-dr.jp/>

Yahoo!での月間検索回数  
**50万回以上**  
のビッグキーワード「インプラント」で  
検索結果上位表示を実現！



お問い合わせ先

## インキュベクス株式会社

<http://www.inquvex.co.jp/>

TEL 045-474-5237

FAX 045-475-0764

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル3F

担当: 澤井貞夫

E-Mail: [sawai@inquvex.co.jp](mailto:sawai@inquvex.co.jp)

当システムのニュースリリースは、こちらをご覧ください。

<http://www.inquvex.co.jp/news/0901.html>

販売パートナーも併せて募集中です。